



〒764-8502  
香川県仲多度郡多度津町南鴨  
200番地1  
代表TEL/0877-33-2221  
FAX/0877-22-2210

<https://www.yonkei.co.jp/recruit/>

- 設立 1951年12月
- 社長 取締役社長 川原 昭人
- 資本金 4億8000万円
- 社員数 827名
- 基本給 大学院了:月給20万9000円  
大学卒:月給20万2000円

●休日休暇 完全週休2日制(土日)・国民の祝日・年末年始(12月29日~1月3日)・創立記念日(5月1日)・年次有給休暇(勤続年数に応じて15・17・20日)・特別休暇(夏期休暇3日など)

●福利厚生 ◆法定福利厚生:健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険 ◆法定外福利厚生:独身寮および借り上げ社宅・慶弔見舞金・財形貯蓄制度・持株制度・退職金制度・確定拠出年金制度・育児休暇

- ▶インターンシップの受入れ/要相談
- ▶大学生アルバイトの受入れ/不可
- ▶採用担当者連絡先/

住所/香川県仲多度郡多度津町南鴨200番地1  
担当部署/組織人事部 谷口・平尾  
採用担当者連絡先/050-8802-2134  
mail/jinji@yonkei.co.jp

# 【四国電力グループ】 四国計測工業株式会社

製造事業(計器・産業事業・電力事業)/エネルギー・環境事業(原子力・電気計装)

## 製造事業本部 電力事業部 技術開発部 開発第二課長

横山 隆利さん(48歳) 電波通信学科卒



## 様々な経験が必ず身を結ぶその一步を踏み出せる会社

これまで、主に半導体試験装置の電子回路の開発設計業務を携わってきました。現在手掛けている製品の開発は大掛かりなもので、組織横断的なプロジェクトを組んで進めています。私たちのグループは、主に仕様設計や電子回路の設計を担当しており、ソフト設計、筐体設計、検査、製造と連携しながらモノづくりに取り組んでいます。

私は、若手社員に3つのことを指導しています。まず、小さなことでも「報連相」をすること。第2は私が先輩から教わった「ネクストカスタマー」です。次はお客様と向き合い、丁寧に確実に仕事をしなさいということです。第3は、進化する技術に追いつくには時間がかかるので根気強く何事にも積極的にチャレンジすることです。当社では、3年、5年計画の育成プログラムに従って、若手の育成に努め

ています。ヒューマンスキルはもちろん、技術に関しても製品ごと、職種ごとにカリキュラムを組み、若手社員のスキルアップを図っています。

また、入社して3年間は基礎をしっかり身につけてほしいと思います。すぐに成果を得ることができないかもしれませんが、確実に理解し、一つずつ知識を積み重ねることが、5年後、10年後に生きてくるとしています。

当社は幅広い製品を提供しており、営業から開発、設計、製造、検査など、さまざまな職種があります。まずは当社の製品や仕事内容を知っていただき、本当にやりたい仕事を見つけていただけたらと思います。ゼロから製品を作り上げていくのは大変ですが、ぜひとも私たちと一緒に地域社会に貢献できるモノづくりをやっていきましょう。

## 経営戦略本部 事業開発部 研究開発課

福田 賢司さん(38歳) 電気・電子工学科卒



## モノを生み出し製品化その全てに携わる喜び

就職に当たって希望したのは、地元にあるモノづくりができる企業。当社は電力関連の仕事がメイン事業になりますが、それ以外の一般産業向けの事業にも力を入れており、新しいことにチャレンジしているところに魅力を感じています。私は7年ほど前から立ち上げたLED事業のプロジェクトメンバーとして、大光量・超高輝度LEDの開発に携わってきました。この仕事は、NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)の助成を受け、大学や他の企業との共同研究開発を進め、特許取得した他社が真似できないLED照明として販売を開始。この製品は優れた省エネルギー性が評価され、2017年度省エネ大賞を受賞しました。現在は、LED事業と、LED拡散のコア部材の転用に関する研究開発に関わっています。

私の仕事は、売れるモノづくりに必要な技術を身につけ、製品にしていることです。モノが生まれる時から製品として量産工程に乗るまで、ずっと携わっていけるとして仕事の面白みとやりがいがあります。世の中になくのものを作り出す仕事はやってみたいと分らないところがたくさんあります。私は、机上だけで考えるのではなく、とりあえず試作品を作って、実際に自分で触ってみることを大切にしています。将来的には、大都市から離れた香川でできない製品、地元で貢献できるモノづくりに携わっていきたくです。

当社は新しいことに挑戦しているゆえに、若い力を必要としています。一緒に新しい製品を作っていきましょう。

## 電力事業部 ソフト設計部 ソフト第四課

前田 光平さん(29歳) 知能機械システム工学専攻卒



## 社会に役立つモノを自分の力で開発したい

就職前、大学に来ていた県内の各企業からのインターンシップの案内を見て初めて当社の名前を知りました。当時は、電力グループで電力メーターを扱っている会社というイメージだけでした。しかし、会社説明会等で当社の話を聞く中で、様々なモノづくりに挑戦している会社であることを知り、がらりとイメージが変わりとても興味を持ちました。

就職に当たっては、地元香川で地元で貢献できるモノづくりがしたいという思いがあり、その中で当社は電力事業を中心に、四国の暮らしを担うモノづくりをやっていこうと、一般企業向けにもさまざまな製品を納めていて、挑戦的なモノづくりをしているところに、技術者としてやりがいがあるのではないかと感じました。入社を希望しました。

現在は、原子力発電所のプラント情報を監視するシステムなどの電力関連製品のほか、ビルや工場等の電力量、空調、熱源などの情報を監視・制御するシステムのソフトウェア設計・製作に携わっており、技術者としてやりがいを感じています。

将来は、社会に役立つモノを自分で開発したいという思いがあります。今は目の前の仕事に打ち込み、まだ足りない知識や技術を磨きながら、目標にたどり着きたいと思っています。また、当社には若くても仕事を任せてもらえるなど技術者が成長できる環境が整っており、その中で経験を積んでいきます。主体的に挑戦したいという方と一緒にモノづくりをしていきたいですね。



## 多度津町エジソン WEB動画公開中!



社名が示す通り電力計測の修理調整業務から事業をスタートし、順次業務を拡大。現在は発電所の電気計装設備の設計・施工・保守や、電力会社

## 電力関連事業基盤に 各種産業分野で頭角

四国電力グループの一員として、発電所や電力ネットワークに関連する計測制御装置の製造・工事保守などを通して電力の安定供給を支える四国計測工業(川原昭人社長)。その一方で、多様な産業分野からの要請に応えるオーダーメイドのモノづくりに力を注ぐ。ゼロからスタートし、製品となるまで、トータルに手がけるモノづくりは各分野から高く評価されている。そして、2020年3月、多様な働き方に対応したオフィス環境を整備として、高松シンボルタワー23階に「高松サテライトオフィス」を新たに開設。2020年4月からは、ダイバーシティ促進の観点から、高度外国人材の登用をおこなうなど、組織の活性化およびアイデアイノベーションの向上にも力を注いでいる。

## 新技術に挑戦続ける スペシャリスト集団

社には多様な事業分野があり、それぞれの分野でスペシャリストが活躍している。それゆえ複数の技術の組み合わせを生み出すことができる。原点は、電力の安定供給を支えることにあり、四国電力の基幹システムを担う企業として絶大な信頼を得ているが、安定だけでなく、新たな技術にチャレンジし続ける企業を目指す。

## 他

と一線を画する大きな特徴は、設計から製造、検査、アフターメンテナンスに至る一貫生産体制にある。手掛ける製品は、発電量や電気の流れをコントロールする電力供給の要、中央給電指令システムや、レトルト食品の密封部への異物混入を検査するヒートシール検査システム、各種競技場や体育館、工場などに使用される超高輝度・大光量のLED照明など多岐にわたる。同社独自の研究開発から生まれたLED照明は、省エネルギーセンターが主催する「2017年度省エネ大賞」の製品ビジネスモデル部門で大賞を受賞している。これら製品の優れた精度や堅牢性などは、まさに電力関連事業のモノづくりに培った高い技術力の証だ。

## 技術の研究開発を核に 唯一無二のモノづくり

向けシステム装置の設計・製造を手掛ける電力向け事業と、自動化をサポートする産業用メカトロニクス製品の開発・製造のほか、LED照明や低カリウムレタスの生産などの一般向け事業を展開している。